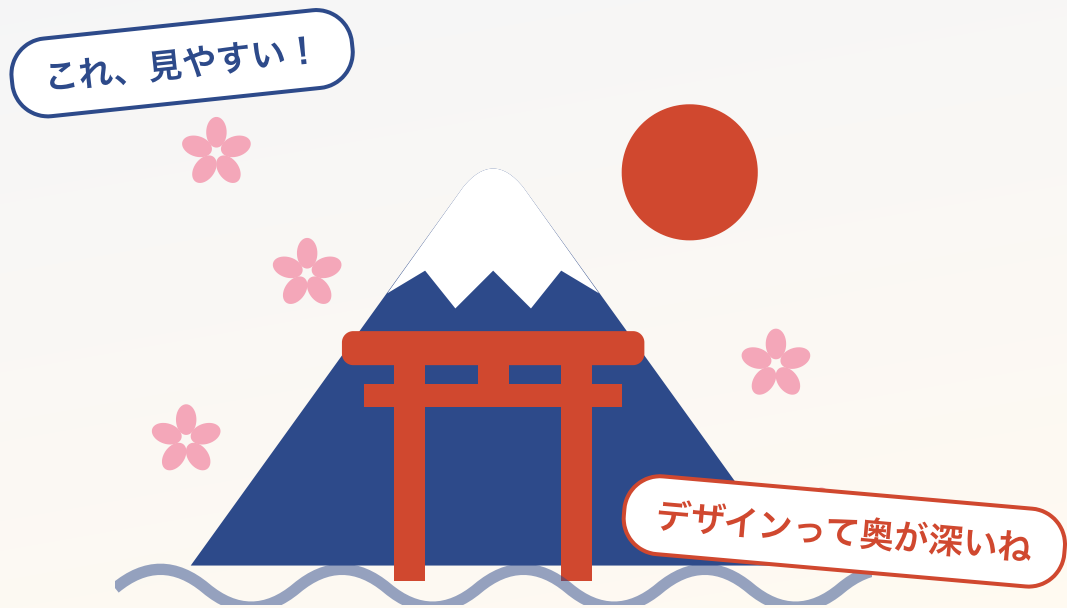




日本のデザイン

シンプルさと使いやすさの美意識



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

デザインの心	3～5
伝統とデザイン	6～7
くらしの中のデザイン	8～10
建築と空間	11～12
広がるデザイン	13～15
見て・体験しよう	16～17
さらに知ろう	18～21
マナー	22
まとめとふり返し	23～25
伝えてみよう	26～28
チャレンジ	29～30

日本のデザインの特徴

日本のデザインには、いくつかの共通した考え方があります。

デザインとは、ものや空間を、見やすく、使いやすく、美しく形づくる工夫のことです。

日本のデザインには、シンプルさや余白、使いやすさを大切にする考え方が受けつがれています。



デザイン

design

ものや空間を形づくる工夫

美意識

びいしき / aesthetic sense

美しさを感じ取る心の働き

ポイント

- デザインは、見た目の美しさだけでなく、使いやすさとも深く関わっています。
- 日本のデザインは、暮らしの中の知恵から生まれてきたものが多くあります。

やってみよう

- 身のまわりで「よいデザインだな」と感じるものを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

静かで質素な中にある美しさを感じる心

あえて何も置かない部分に生まれる美しさ

- かぎりすぎず、必要なものだけを残す考え方が大切にされています。
- 余白があることで、見る人の想像力が広がります。
- 水墨画や庭園にも、この美意識が表れています。

1. 「余白」を感じるものを、身のまわりで探してみよう。

4

自然の素材を生かし、使いやすさを追求する工夫があります。

あたたかみを感じる素材

軽く、かこうしやすい素材

しなやかで丈夫な素材

季節や用途に合わせて選ばれる素材

持ちやすさを考えた形

説明がなくても分かる工夫

- 自然素材は、使うほどに風合いが増すものもあります。
- 使いやすさとは、初めて使う人にも分かりやすいことでもあります。

1. 家にある木や紙でできたものを1つ書いてみよう。

今のロゴマークにも通じる、分かりやすく美しいデザインの工夫が見られます。



- 家紋は、着物や道具にそめたり、彫ったりして使われてきました。
- シンプルな線と形で、遠くからでも見分けやすくつくられています。

1. 丸や花をつかったマークを、自分でもデザインしてみよう。

伝統工芸には、長い年月で磨かれたデザインの工夫があります。

使う人のことを考えて、長い時間をかけて工夫されてきました。

- 漆器や陶磁器には、機能と美しさを両立させる工夫が見られます。
- 地域ごとの気候や材料に合わせて、独自の技が発展してきました。

1. 家にある工芸品を1つ探して、形や色を観察してみよう。

身のまわりの道具にも、こまやかなデザインの工夫があります。

product design

ぶんぼうぐ／stationery

8

- 開けやすさや持ち運びやすさなど、使う人の動きまで考えられています。
- 季節や行事に合わせた色や柄が使われることもあります。
- 包み方そのものが、相手を思う気持ちを表すこともあります。

1. 家にある箱や袋で、工夫を感じるものを1つ書いてみよう。

ピクトグラム

絵で伝えるマーク、ピクトグラムにも工夫があります。

ピクトグラムとは、文字を使わず、絵だけで意味を伝えるマークのことです。

駅や空港、トイレなどで見かける案内マークの多くが、この工夫でつくられています。



ポイント

- ことばが分からない人にも、意味が伝わるように工夫されています。
- シンプルな形にすることで、遠くからでも一目で分かります。

やってみよう

1. よく見るピクトグラムを1つ思い出して、何を表すか書いてみよう。

書いて覚えよう

建物のデザインにも、日本らしい工夫が見られます。

木のあたたかみを生かしたづくり

雨や雪から建物を守る工夫

美しい白い外観で知られる城

高さと美しさを両立させた電波塔

自然素材を生かした静かなづくり

伝統の美意識を今の形に生かす建物

- 日本の建築は、気候や地震に合わせて工夫されてきました。
- 世界遺産に登録されている建築物もあります。

1. 行ったことのある建物で、印象に残っているものを1つ書いてみよう。

インテリアと和

部屋の中にも、和の美意識を取り入れる工夫があります。

和を感じるインテリア

障子ごしの光

畳のかおり

低い家具

自然素材の色合い

光や素材を生かし、落ち着いた空間をつくります。

ポイント

- 洋室の中にも、和の要素を少し取り入れるくふうが人気です。
- 自然の光を生かすことも、和のデザインの持ちょうです。

やってみよう

1. 自分の部屋に和を取り入れるなら、何を置きたいですか。

書いて覚えよう

- 文字の大きさや色、写真の配置で、伝わりやすさが大きく変わります。
- 余白を生かして、伝えたいことを分かりやすくする工夫もあります。
- 季節の行事を知らせるポスターにも、デザインの工夫が見られます。

1. 学校や街で見たポスターで、印象に残っているものを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

ユニバーサルデザイン・身のまわりのデザイン

だれにとっても使いやすいデザインの工夫があります。

ユニバーサルデザイン

universal design

年れいや体の状態に関わらずだれもが使いやすい
工夫

バリアフリー

barrier-free

生活の中の困りごとを取りのぞく工夫



Ken

力の弱い人にも使いやすいようにデザインされているんだよ。

Emma

この蛇口、レバー式で使いやすいね。



ポイント

- 段差をなくしたり、大きな文字を使ったりする工夫があります。
- だれか一人のためでなく、みんなのためのデザインという考え方です。

やってみよう

1. 身のまわりのユニバーサルデザインを1つ探してみよう。 _____

書いて覚えよう

自分でデザインを考え、人に伝えてみましょう。

伝えたいこと

書いて覚えよう

- 写真集やインターネットで、さまざまな建築やプロダクトを見くらべてみましょう。
- 博物館や資料館で、工芸品や道具の実物を見られることもあります。
- 身近な文房具や道具にも、たくさんの工夫がかくれています。

1. 家にある道具の中から、形や色に工夫を感じるものを1つさがそう。
2. 気になるデザインの写真を集めてみよう。

体験してみよう

実際に手を動かして、デザインを体験してみましょう。

やってみよう

家紋ふうのマークをつくる

しおりをデザインする

部屋の配置を考える

ピクトグラムをつくる

紙とペンがあれば、家でも試せます。

ポイント

- 実際につくってみると、考えるだけでは気づかない難しさが分かります。
- はさみやカッターを使うときは、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。

書いて覚えよう

- 気候によって、屋根の形や建物のづくりがちがいます。
- 地域ごとに、伝統工芸の技法やもようにも特色があります。
- 「これが日本のデザイン」と一つに決められるものではありません。

1. あなたの地域ならではの建物や道具のデザインを1つ書いてみよう。

手仕事を中心だったころ

一つ一つ時間をかけてつくる

木・紙・布などを使う

新しい技術と共存する今

効率よく多くつくれる

新しい形で受けつがれる

- 形は変わっても、使う人を思う気持ちは受けつがれています。

1. 家族に、昔と今でデザインがどう変わったか聞いてみよう。

1. Q. 家紋は今でも使われている？→ A. 着物やお墓、和菓子の包み紙などで、今も使われています。
2. Q. ピクトグラムはだれが考えた？→ A. さまざまな人が長い時間をかけて改良を重ねてきたものです。
3. Q. 余白はなぜ大切？→ A. 見る人が想像したり、落ち着いて見られたりするためといわれています。

- 分からないことは、本やくわしい人に聞いてみるのもよい方法です。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 日本のデザイン 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

- 建築や工芸品を見学するときは、説明や注意書きをよく読みましょう。
- 実物にふれてよいか分からないときは、確認してからにしましょう。
- 人のデザインを真似するときは、学びとして参考にする姿勢を大切にしましょう。

1. デザインを見学するときに気をつけたいことを1つ書いてみよう。

22

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

美意識のことば

☐ わび・さび

静かで質素な中にある美しさ

☐ 余白

何も置かない部分の美しさ

☐ 美意識

美しさを感じ取る心の働き

くふうのことば

☐ 家紋

家や一族を表すマーク

☐ ピクトグラム

絵だけで意味を伝えるマーク

☐ ユニバーサルデザイン

だれもが使いやすい工夫

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、デザインの見方が広がります。

書いて覚えよう

● オ. だれもが使いやすい工夫

3. 何も置かない部分の美しさは？

- | | | |
|--------------------------|--------------------|-------------|
| ☐ | 日本のデザインの特ちょうを1つ言える | 余白・シンプルさなど |
| ☐ | 家紋やピクトグラム役わりを説明できる | 伝えるための工夫 |
| ☐ | ユニバーサルデザインの例を1つ言える | だれもが使いやすい工夫 |
| ☐ | デザインについて体験を1つした | しおりづくりなど |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

①「日本のデザインって〇〇なんだって」と伝える→②自分が気になったことを話す→③相手の考えも聞いてみる

何も置かない部分に生まれる美しさ

家や一族を表すために使われてきたマーク

日本のデザインって、余白をよく使うよね？



うん、その余白自体が美しさの一部なんだよ。

1. 好きな日本のデザインを1つ、短い英語で紹介してみよう。

もっと知りたい人へ

デザインの世界は、ここからさらに広がります。

調べる方法

博物館へ

工芸品や建築の実物を見る

本を読む

デザインの歴史を知る

街を歩く

身近なデザインを探す

次に学びたいテーマ

ファッション

身につけるものの美意識

工芸

ものづくりの技

建築

空間をつくる工夫

ポイント

- この教材の次は「地域の祭りを知る」。地域に伝わる、もう一つの日本文化を見ていきます。

書いて覚えよう

身近にある**デザインの工夫**を1つ探す

自分で**マーク**や**しおり**をデザインする

気づいた工夫を**友だちや家族に紹介す**
る

L28 余白→イ 家紋→エ ピクトグラム→ア ユニバーサルデザイン
→オ わび・さび→ウ 2. 家紋 / ピクトグラム / 余白

L33 (例) シンプルさと使いやすさを大切にする、日本らしい美意識のこと。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。